

2022年9月28日

和歌山県知事  
仁坂 吉伸 様

日本共産党和歌山県議団  
団 長 奥村 規子  
幹事長 高田 由一  
楠本 文郎  
杉山 俊雄

### 新型コロナウイルス感染症に関する緊急申し入れ(第11次)



新型コロナウイルス感染症の第7波は収束傾向にはあるものの、感染の高止まりや増加が懸念され、予断を許さない状況です。今後、さらに感染力や病原性の強い新たな変異株の可能性も否定できないことから、現時点で災害対応の基本である「想定外」をなくす対応策を検討しておくことが大切だと考えます。

については、以下の取り組みをされるよう緊急に申し入れるものです。

- 1, 「全数届出の見直し後の対応」については、「非常にわかりにくい」との声が県民から寄せられている。早急に、フローチャートや動画の作成に加え、新聞への全面広告やオンラインでの対応窓口を設置するなど工夫をした県民への広報、アナウンスをされたい。
- 2, 引き続き感染爆発の震源となりうる子どもたちへの感染拡大防止策を強化されたい。
- 3, PCR検査等無料化事業について、一般検査事業を拡大、継続されたい。
- 4, 和歌山県コールセンター(新型コロナ専用相談窓口)の体制を充実されたい。
- 5, 事業者への県単独の支援金について、原材料費や光熱水費などの高騰に対応できる内容を加味した新たな制度を作られたい。
- 6, 高齢者などリスクの高い人を守るためのあらゆる対策を次の感染爆発を想定したうえで早急に立案するよう政府に要請されたい。
- 7, いわゆる「水際対策」については、新たに懸念される変異株が海外で発見された場合は早急に強化するよう政府に要請されたい。

以上